



フィールド研究における総合知

～知識から実践へ～

日時 2023年9月19日(火) 13:30～16:45

場所 日本学術会議講堂(東京都港区六本木7-22-34)
ハイブリッド開催

オンラインでの参加は、下記のURLまたは右のQRコードからお申し込み下さい。

<https://forms.gle/PCrhttabFHMIgQDP8> (申込〆切: 9月15日)



開催趣旨

土地管理や生態系保全などの現場の問題に対処するフィールド研究では、専門知のみならず総合知が必要です。自然科学と人文・社会科学を結集した学問知に加え、対象とする地域についての深い理解、そして地元のコミュニティとの協働の基盤となる現場知が求められます。

本シンポジウムは、土地や生態系の劣化といった問題を解決することを志向した国内外での研究事例を紹介し、環境学分野における学術のあり方を考えることを目的としています。

プログラム

13:30 開会挨拶

高村 ゆかり (日本学術会議第一部会員、副会長、東京大学未来ビジョン研究センター教授)
北川 尚美 (日本学術会議第三部会員、東北大学大学院工学研究科教授)

13:40 趣旨説明

恒川 篤史 (日本学術会議連携会員、鳥取大学乾燥地研究センター教授)

13:50 講演「福井県三方五湖の自然再生における総合知の発展と活用」

吉田 丈人 (日本学術会議連携会員、東京大学大学院農学生命科学研究科教授)

14:20 講演「森林の利用と管理」

深町 加津枝 (日本学術会議連携会員、京都大学大学院地球環境学学准教授)

14:50 講演「アフリカ/中央アジアにおける土壌劣化とその修復」

小崎 隆 (日本学術会議連携会員、愛知大学国際問題研究所名誉教授、京都大学名誉教授)

15:20 ～休憩～

15:35 講演「砂漠化・放牧地管理における在来知」

柿沼 薫 (アブドラ王立科学技術大学生物環境科学・工学部門リサーチサイエンティスト)

16:05 総合討論

モデレーター: 恒川 篤史 (日本学術会議連携会員、鳥取大学乾燥地研究センター教授)

コメンテーター: 岩崎 英二 (独立行政法人国際協力機構 (JICA) 上級審議役)

北川 尚美 (日本学術会議第三部会員、東北大学大学院工学研究科教授)

講演者

16:35 閉会挨拶

大政 謙次 (日本学術会議連携会員、高崎健康福祉大学農学部長・教授、東京大学名誉教授)